



鳥海山などの山では、神さまをまつる小さな「ほこら」が道の途中にいくつもあり、むかしは手を合わせておがみながら登ったそうです。

遊佐町の海辺に、同じようなほこらが残っています。海で魚をとって暮らしていた漁師の人たちは、このほこらに漁の安全と大漁を祈ったんでしょうね。





ほこらは、海に突き出した岩のてっぺんにあり、海の方は20mくらいのガケになっています。

写真で見るとステキな絶景だけど、ちょっとこわいですね。

このあたりは、近くに住む漁師の人たちにとって、今でも大切な漁場になっています。



この近くには、岩で囲まれて波が穏やかなプールのような場所があります。

小さい頃、おにぎりとお水筒を持って漁師さんの船で朝ここに降ろしてもらい、一日中ここでのんびり遊んで夕方また拾ってもらったりしてました。

波のない海面にぷかぷか浮き、シュノーケルつけて海の底ぼーっと見てると、いろんな魚やカニ・タコなどがいるものでした。

いつまでもいつまでも、こんなのどかな光景が見られますように。

そんなことをつついっお願いしてみたくになります。

